

今後の資源循環施策に関する区市町村と都との共同検討会

## 今年度【令和2年度】の取組状況等

### 【構成】

- 小型二次電池（リチウムイオンバッテリー等）の処理方法について

小型二次電池等の処理方法ワーキンググループの実施概要

- 容器包装リサイクルの分別収集等による焼却量の削減、焼却灰の資源化促進
- 家庭ごみの有料化に伴う削減効果と課題

プラスチック製容器包装の分別収集・家庭ごみの有料化ワーキンググループ  
の実施概要

今後の資源循環施策に関する区市町村と都との共同検討会

令和3（2021）年5月

## ■ 小型二次電池（リチウムイオンバッテリー等）の処理方法について

### 小型二次電池等の処理方法等ワーキンググループの実施概要

#### < 目的 >

都内のリサイクル施設や収集運搬車内で、リチウムイオン電池など小型充電式電池が原因と考えられる発火・発煙事故が頻発しており、立川市のリサイクルセンターでは、平成30年4月から12月までの9か月間で19件の発煙・発火トラブルが確認されている。

このため、廃棄物処理システムを安定的に維持するとともに、希少金属等のリサイクルの推進に向け、都内における小型二次電池の適正処理方法について、区市町村や業界関係者と連携して検討する。

## 1 今年度（令和2年度）の取組状況

### ●12月 小型二次電池等の処理方法WG(第3回)を開催

- ・令和元年度の検討状況に関する振り返り(※)
  - ・環境省、(公財)日本容器包装リサイクル協会、東京消防庁から、対策検討や取組事例集、広報等に関する情報提供
  - ・自治体アンケート調査結果の共有
- などを実施

※ 小型二次電池に関する業界・行政の各種取組に係る情報共有、廃棄物処理システムにおける小型充電式電池の混入ルートの想定、今後の取組案の整理等

### ●3月 小型二次電池等の処理方法WG(第4回)を開催

- ・東京都が実施する「小型充電式電池の発火事故等の防止に向けた対策検討調査委託」(令和2年度)の概要報告
  - ・小型二次電池等の処理方法に関する普及啓発の検討
- などを実施

## 2 来年度（令和3年度）以降の取組の方向性

引き続き、小型二次電池等の適正処理に向けた方策等について、WGを通じ意見交換・情報共有を図っていく。

## ■ 容器包装リサイクルの分別収集等による焼却量の削減、焼却灰の資源化促進

### ■ 家庭ごみの有料化に伴う削減効果と課題

#### プラスチック製容器包装の分別収集・家庭ごみの有料化

#### ワーキンググループの実施概要

#### < 目的 >

廃プラスチックの有効利用率の低さや、海洋プラスチックによる世界的な環境汚染などの問題を受け、国はプラスチック資源循環戦略(R1.5.30)において、2030年までにワンウェイプラスチックを累積25%の排出抑制や、プラ製容器包装の6割のリユース・リサイクルなど、プラスチックの資源循環を進めるマイルストーンを示した。

また、都においても、廃棄物審議会の最終答申「プラスチックの持続可能な利用に向けた施策のあり方」(R1.10.8)において、区市町村に対し、プラスチック製容器包装の分別収集に向けた取組を強力に後押しし、その持続可能な利用を進めるべきとの提言を受けた。

このため、気候変動対策にも資するプラスチックの循環利用に向け、家庭ごみの多くを占めるプラスチック製容器包装のリサイクルを都内全域で展開する方策を、区市町村や業界関係者等と検討する。

## 1 今年度（令和2年度）の取組状況

- 東京都が令和2年度から実施する「プラ製容器包装・再資源化支援事業」を通じ、区市町村のプラスチック製容器包装の分別収集等を推進

※ 令和2年度はWGの開催なし

## 2 来年度（令和3年度）以降の取組の方向性

引き続き、プラスチック製容器包装の分別収集や家庭ごみの有料化に係る方策等について、WGを通じ意見交換・情報共有を図っていく。